

事例集作成要領

茨城県 IoT 推進ラボ事務局

作成要領

1. 記述要領

事例集様式（見本：ひな形 ppt および下記 2 項）を参考に作成する。

- ① 作成する原稿は、A3 用紙横サイズ、パワーポイント、文字入力場所は事例集様式（見本：ひな形 ppt）による。左右の余白はそのままにしておく。
- ② フォントは MS Pゴシックとする。
- ③ 文字数及びフォントサイズは「事例集様式（見本：ひな形 ppt）」を参考にする。
- ④ 「既定」と書かれた文章は修正せずにそのまま使用する。（3カ所ある）
- ⑤ 平成 29 年度の事例集（20社）を当社 HP に掲載していますのでご参照ください。

http://www.htc.co.jp/wp-content/uploads/2018/03/IoT_jireisyuu_mihiraki_20case_02.pdf

2. 事例集様式

2.1 「タイトル」

タイトルは事例を 30 文字以内で紹介する。（平成 29 年度事例集を見るとニュアンスが分かる）

2.2 「自社紹介」

- ① キャッチコピー：自社の特徴、ビジョン、モットーや社会での役割などを書く。
今回の IoT とは直接関係がなくても良く、宣言に利用してください。
- ② 写真：製品、建屋外観、設備、作業風景など、御社の宣伝となるものを張り付ける。
- ③ 会社名、住所、電話番号、URL、資本金、従業員数、業種、事業内容を書く。
業種、事業内容は経産省の「業種分類表」を参考にする。

2.3 「特徴」：右上部

今回の IoT の特徴を 20 文字以内で表現する。

2.4 「課題」と「ゴール」：右上部

- ① 課題：今回の IoT 等導入に至る前、どんな課題があったのか箇条書きで書く。
- ② ゴール：課題に対し今回の IoT 等で目指すもの、こういうことが出来たら、と思うことを書く。

2.5 「IoT による課題解決」

ここは大きく分けて以下の 3 項目に分けて記述する。

- ① 「具体的な取り組み内容」：システム構成、導入したソフトウェア・ハードウェアや取組内容等をできるだけ具体的に書く。（秘密や特許申請前事項は書かない）
- ② 「取り組み後の効果」：予想される効果やどのようなことが出来るようになったかを書く。
- ③ 「目標や今後の取り組み」：現在の計画や現状からのステップアップの予定等を書く。

2.6 「IoT 導入による効果」

「取り組み後の効果」を箇条書きで、且つ、できるだけ定量的に記載する。

（例 1）作業実績の入力をタブレットで行うことで生産性効率 10% アップ

（例 2）計画立案時間の短縮 1 日 → 4 時間

（例 3）設備稼働状況可視化で稼働率向上 60% ⇒ 80% 、など

以上